



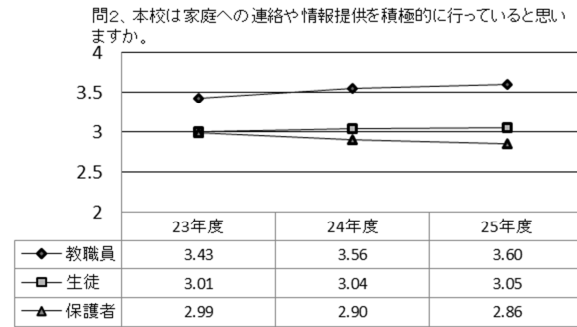
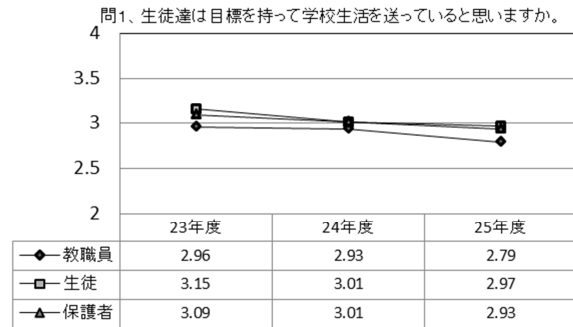
学 校 短 信

2014年(平成26年)3月11日
大和市立南林間中学校 360号

学校評価アンケート特集

よりよい南林間中学校づくりを目指して、昨年11月末から12月初旬にかけて教職員・生徒・保護者の皆様を対象に、学校評価アンケートを実施しました。三者の比較ができるよう共通の項目も設定しました。回答は、4＝そう思う 3＝ややそう思う 2＝あまりそう思わない 1＝そう思わないとしました。中間値は2.5となり、平均値が3以上であれば良い、2.5～3をやや良い、2～2.5をやや悪い、2以下を悪い評価として、一昨年・昨年との比較、三者の差異について分析・考察しました。

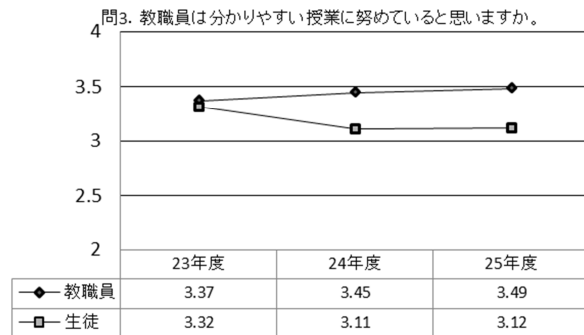
1. 学校運営



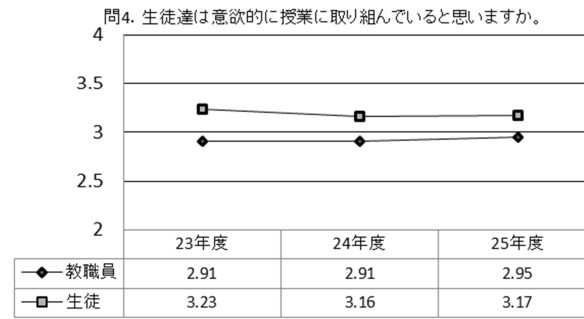
問1の結果から、ある程度の生徒達は目標をもって生活しているものの、一昨年、昨年と比較すると三者とも徐々に下降傾向であることから、目標を持って学校生活を送ることのできる環境づくりが必要であると考えられます。

問2の結果から、保護者は学校からの連絡や情報が不十分だと感じているようです。教職員は、さらに保護者への連絡や情報提供を密にしていける必要があります。

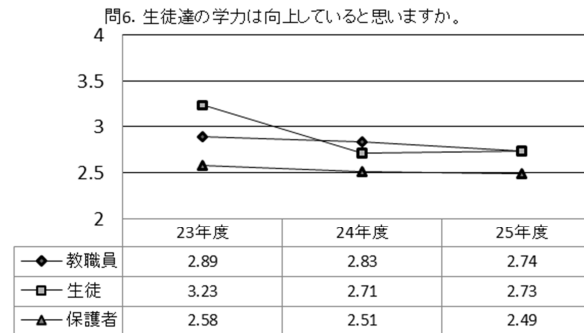
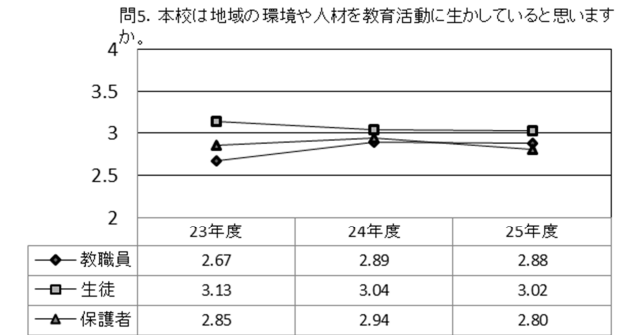
2. 学習指導



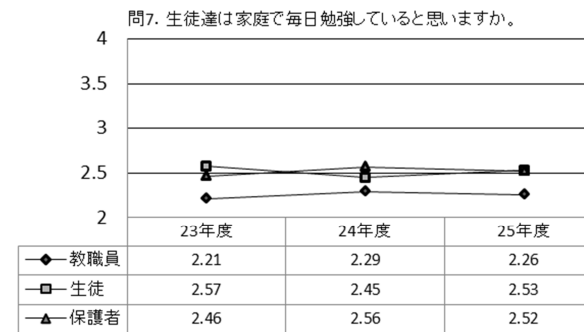
問3の結果から、生徒にとって、授業はわかりやすいものになっていることが分かります。しかし、教職員と生徒との間には差があります。教職員は、今後も生徒の実態を把握して、更にわかりやすい授業を追及していく必要があります。



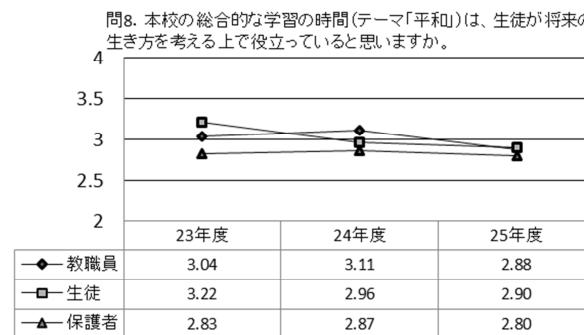
問4の結果から、生徒は積極的に授業に取り組んでいるようです。教職員の評価も高くなっています。また、今回のアンケートから、高学年になるほど生徒は意欲的に授業に取り組んでいることが分かりました。問5の地域教育力の活用については、生徒の評価は高い結果となりました。これは学校で行っている1年生のリサイクル活動、2年生の職業学習などによるものと考えられます。



問6では、生徒は23年度に高い値(3.23)であるが、23年度以前も2.7前後で推移しており、平成23年度の値が特異値である可能性もあると考えられます。今後もさらに、教科指導を見直す必要があると考えられます。

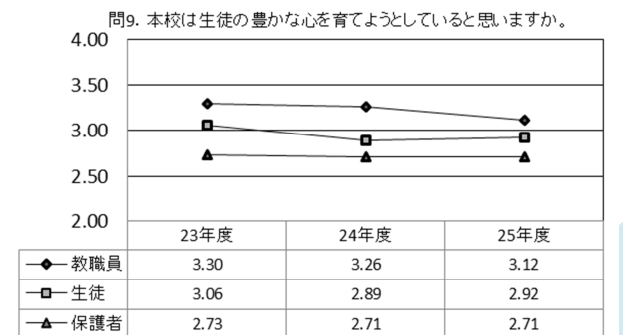


問7では、教職員は、生徒は毎日家庭で勉強していないと感じていると考えられます。三者共にこのことについては低い数値となっており、学校、家庭ともに取り組んでいかなければいけない課題のひとつだと考えられます。



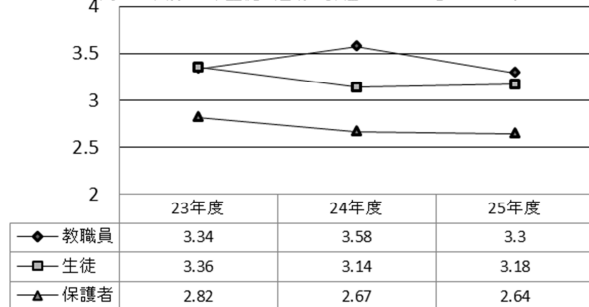
問8の結果から、昨年度に比べ、三者共に数値が下降しました。下降傾向である原因を探っていく必要があると考えられます。

問9の結果から、保護者は「やや良い」の範囲で推移しています。「豊かな心」の具体的なイメージと「豊かな心を育む」具体的な実践場面を、学校がさらに検討し示していく必要があると考えられます。



3. 評価

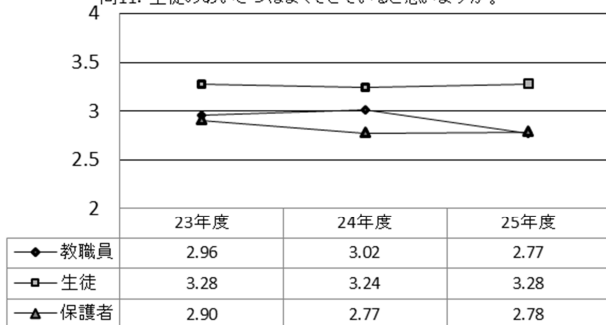
問10. 本校では、生徒を適切に評価していると思いますか。



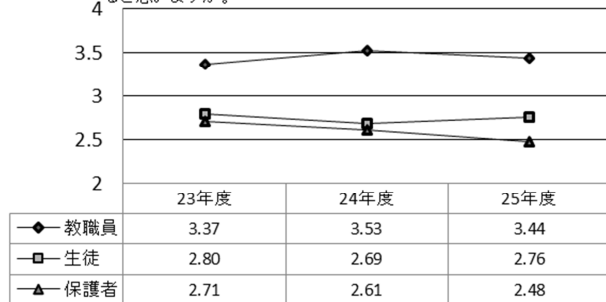
問10の結果から、教職員・生徒と保護者との隔たりが大きくなっています。今後、さらに、保護者に対して評価についての具体的で分かりやすい説明が必要であると考えられます。同時に、保護者がどのようなことを適切でないと判断しているのかを把握することも必要であると考えられます。

4. 生活指導

問11. 生徒のあいさつはよくできていると思いますか。



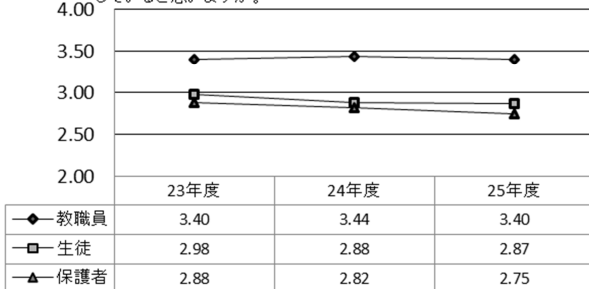
問12. 生徒の相談事や悩みなどについて、教職員は適切に対応していると思いますか。



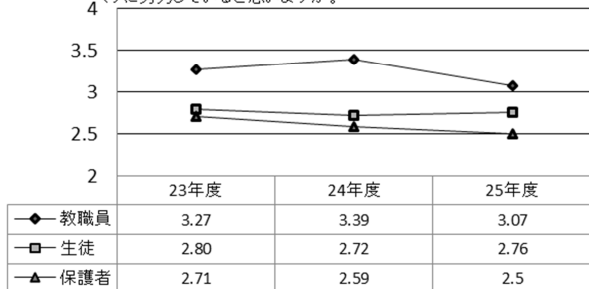
問11では、生徒はあいさつをしていると評価していますが、教職員・保護者共に生徒のあいさつに対する評価は低い結果となりました。教職員が大きく下降していることから、教職員は生徒のあいさつができていないと感じているようです。学校や家庭でのさらなる指導が必要であると考えられます。

問12では、教職員は年毎に上昇してきましたが、今年度は上げ止まりとなりました。しかし、保護者は年々下降しており、今後、学校と家庭がさらに連絡連携を図っていく必要があると考えられます。学校では、今後も教育相談などの場を大切にしていきます。

問13. 本校では、生徒が安心して学校生活を送れるような生活指導をしていると思いますか。



問14. 本校では生徒が自分の考えや意見を言いやすいような学級づくりに努力していると思いますか。

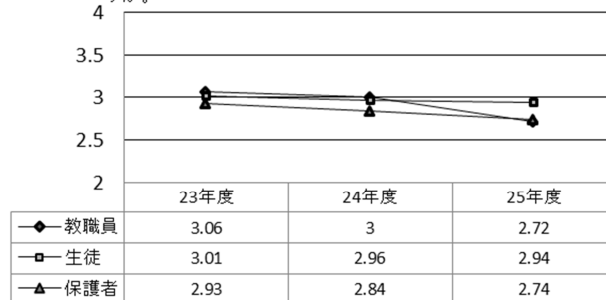


問13では、生徒、保護者とも「やや良い」の数値で推移していますが、教職員と生徒、保護者との間に依然、差が見られます。今後もさらに指導の充実と説明が必要であると考えられます。

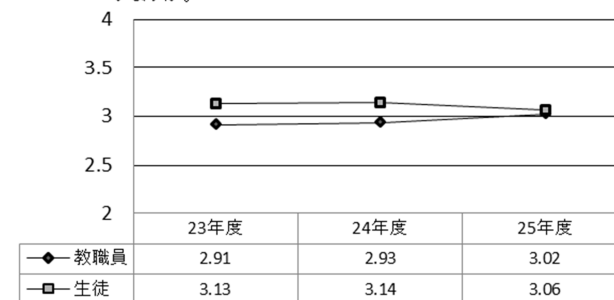
問14では、生徒の数値が上がりました。教職員は、今後も生徒が自分の考えや意見を言いやすいような学級づくりに努力していく必要があります。

5. 特別活動

問15. 本校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいると思いますか。



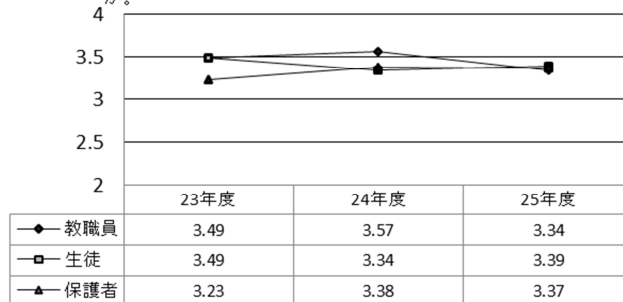
問16. 本校の生徒会活動や委員会活動は、活発で充実していると思いますか。



問15では、三者ともわずかに下降傾向です。週当たりの清掃活動日数も削減されたのも原因のひとつと考えられます。

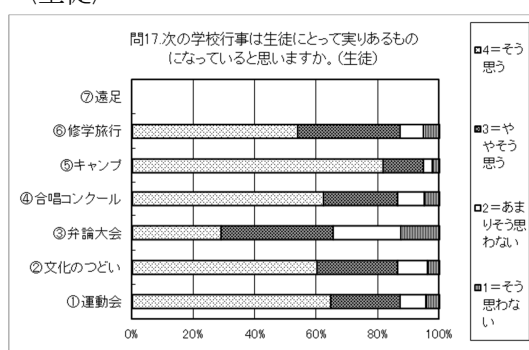
問16は、上昇傾向であり、生徒会活動や委員会活動が活発化してきている結果だと思われます。今後もこの傾向を維持していく必要があると思われます。

問17. 学校行事は、生徒にとって実りあるものになっていると思いますか。

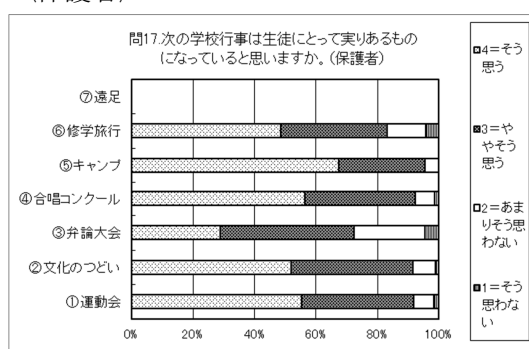


問17の結果から、三者共に高い評価となっています。これからも、さらに実りある学校行事となるように努めていきたいと考えています。

〈生徒〉



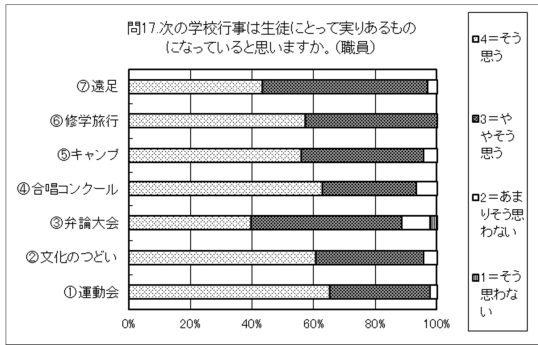
〈保護者〉



	① 運動会	② 文化のつどい	③ 弁論大会	④ 合唱コンクール	⑤ キャンプ	⑥ 修学旅行	⑦ 遠足
4=そう思う	499	463	222	477	198	141	0
3=ややそう思う	174	203	280	184	32	87	0
2=あまりそう思わない	64	76	168	67	7	20	0
1=そう思わない	35	30	98	39	6	14	0

	① 運動会	② 文化のつどい	③ 弁論大会	④ 合唱コン	⑤ キャンプ	⑥ 修学旅行	⑦ 遠足
4=そう思う	294	276	152	297	116	90	0
3=ややそう思う	192	210	230	189	48	64	0
2=あまりそう思わない	35	39	122	34	7	23	0
1=そう思わない	9	6	24	7	1	8	0

〈職員〉

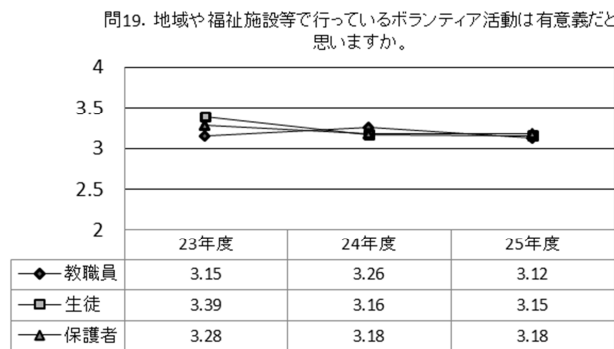
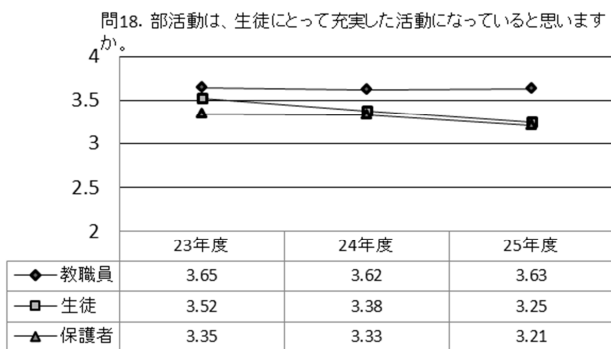


	①運動会	②文化のつどい	③弁論大会	④合唱コンクール	⑤キャンプ	⑥修学旅行	⑦遠足
4=そう思う	28	26	17	27	24	24	13
3=ややそう思う	14	15	21	13	17	18	16
2=あまりそう思わない	1	2	4	3	2	0	1
1=そう思わない	0	0	1	0	0	0	0

まとめ

生徒集計	
高い評価項目	低い評価項目
家庭への連絡	
わかりやすい授業	
授業への取り組み	
人材活用	
評価の適切性	
あいさつの励行	
生徒会・委員会活動	
学校行事	
部活動の充実	
ボランティア活動	

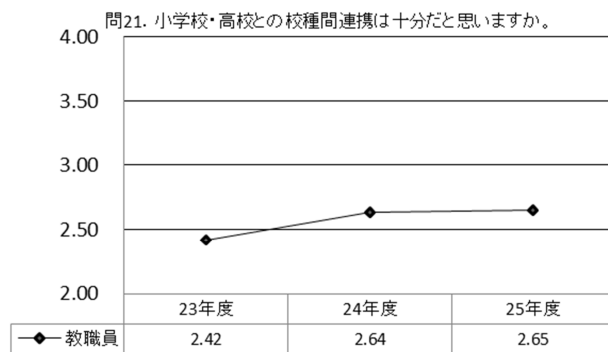
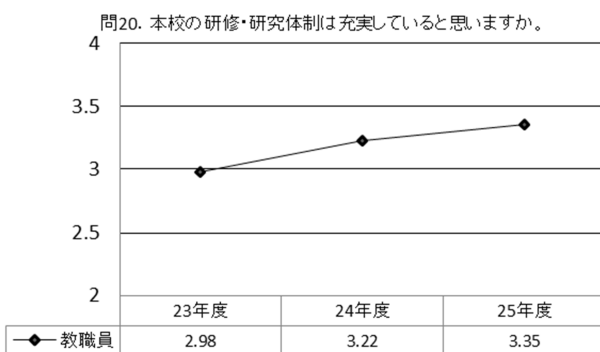
保護者集計	
高い評価項目	低い評価項目
学校行事	学力向上
部活動の充実	悩み事の相談
ボランティア活動	



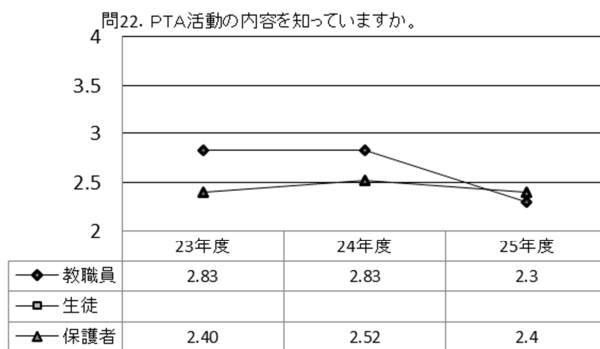
問18の部活動については、高い評価であるものの、生徒の評価が徐々に下降しています。

問19のボランティア活動では、3年生を中心に多くのボランティアで活動しており、高い評価となっています。生徒にとって有意義な活動のひとつであると思われます。

6. その他



研究体制は、年々、大きく上昇しています。研修・研究体制が充実してきている結果だと思われます。小学校・高校の校種間連携は昨年度、上昇したが、今年度は横ばいでした。



PTAの活動については、教職員の認知度が大きく減少しました。教職員は、PTA活動に積極的に参加し理解していく必要があると考えられます。